

あそ ゆた
阿蘇のくらしと豊かな草原

阿蘇の草原を
ぼくたち、わたしたちの手で、
未来に残そう！！



学校名

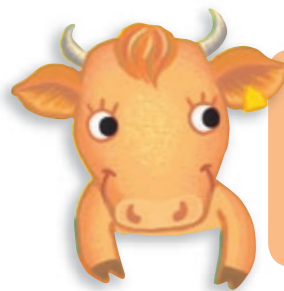
年 組 番

名前

草原の1年は野焼きで始まる

私たちの住む阿蘇には、広々とした草原が広がっています。この日本一広い草原には、たくさんの生き物が暮らし、阿蘇にしかない花もさいています。世界中にじまんしたいほど、美しく豊かな阿蘇の草原は、国立公園に指定されています(P10を見てね)。それは、私たちの先祖が、千年もの時間をかけてつくってきたものです。ところが、この草原が、なくなってしまうかもしれないという危機をむかえています。はるか昔から阿蘇の人々が守ってきた草原を、千年後の未来の人たちにも見せてあげたい。そのために、いま、私たちには何ができるでしょうか。

あか牛のくさ子



みんなは野焼きを見たことがあるかな？ そのとき思ったことを書いてみよう。見たことがない人は、写真を見て感じたことを書こう。



思ったことを書いてみよう。

Blank lined area for writing.

ちがうよ。これは野焼きだよ。うちのおじいちゃんも毎年参加しているんだ。



まさかずくん



しょうこさん

わー大変！
草原が火事よ！

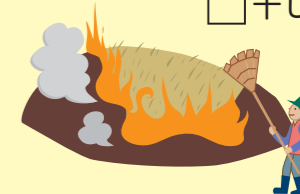
なんでわざと草原を焼くんだろう。きっと何かヒミツがあるんだよ！



けんたくん

知っているものに○をつけてね。

- 野焼き
- 放牧
- 輪地
- 草刈り
- 干し草



知らなくてもだいじょうぶ。これから全部この本に出てくるよ。



あそ 阿蘇の草原と野焼き

毎年3月になると、阿蘇ではあちこちで野焼きが始まります。野焼きの炎は、時として30mもの高さになります。ごう快ではく力がありますが、とても危ない作業です。山火事になったり、けが人が出たりすることもあります。

●野焼きの道具

たいまつ
火をつけるときに使います。
火消し棒
消火作業に使います。竹とかすら、スギの枝などで作ります。



ジェットシューター
背中に背負ったバッグに水を入れ、ハンドパイプから水をふん出させて火を消す道具です。



そう言えば、なんでこんな危ないことをしているのかな。

どうやって安全に焼いているんだろう。



どんなことに注意しながら作業しているのかな。作業中の人になったつもりで書きこんでみよう。



燃えうつらないか、ちゃんと見ていなきゃ。

みんなは、野焼きを見て、いろいろと知りたくなりました。そこで、まさかすくんのおじいさんに、話を聞いてみました。

おじいさんの話

野焼きは昔から、阿蘇の農家の人が中心になって行っているんだよ。野焼きをすることで、春に元気な草が生えてきて、その草をいろいろなことに利用することができるんだ。野焼きや輪地切りは、とても危険で大変だけど、私たち阿蘇の農家にとっては、生活のために欠かせない大事な作業なんだよ。



へえ〜。知らなかったなあ。野焼きをすると、春に元気な草が生えやすくなるのか。



野焼きは準備もたいへんだね。



でも、草原の動物たちはだいじょうぶかな？ やけどをしたり死んじゃったりしないのかな。



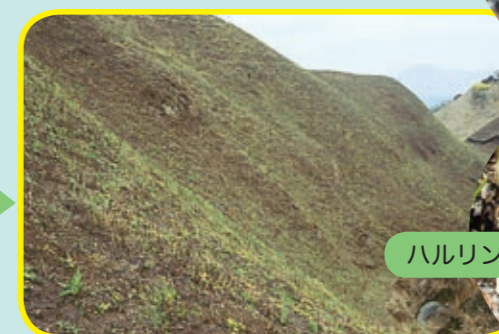
パークレンジャーのお兄さん

野焼きと動植物

草原にはうさぎやきつねなどいろいろな動物がくらしているよ。野焼きの間、草原の動物たちは、火のついていない草原や森に逃げているので、焼け死ぬことはめったにないけれど、ちょっと迷わくかもしれないね。でも、植物にとっては、芽生えを助けてくれる、ありがたいものなんだよ。



野焼きして真っ黒になった草原



キスミレなどが咲き始めた草原

ワラビもたくさん生えてくるよ！



ワラビ



ハルリンドウ



よかった。でも、野焼きが植物にとっていいことなのはわかったけど、農家の人たちにとってはなんの役に立つの？



野焼きが終わってしばらくすると、おじいちゃんは、草原に牛を放しにいくよ。



そのことと野焼きとは関係があるのかな。

みんなは、春になったら、まさかすくんのおじいさんといっしょに草原に出かけることにしました。

メモ

草原についての疑問や知りたくなったことを書いておこう！

牛や馬の放牧

野焼きでまっ黒こげだった草原は、5月には緑色のじゅうたんに変わっていました。牛や馬がのんびりと草を食べています。



草原の牛は何をしているのかな。牛になったつもりで書きこんでみよう。



●放牧



阿蘇の草原では、草が青々とのびてきた4月から5月ごろに放牧が始まります。牛はおいしい草を探して歩き回ります。すると、おなかが減るので、草をたくさん食べます。たくさん食べてたくさん運動するので、健康に育ちます。



メモ
牛についての疑問や知りたくなったことを書いておこう！

あの牛や馬は、うちで飼っているんだよ。

どうして草原に牛を放すの？

草原に放すのは、おかあさん牛だよ。草原を自由に歩き回って新せんな草をたくさん食べるから、元気な子牛を産むことができるんだ。この子牛を育てて売るのが、わたらの仕事なんだよ。

野焼きのあとに生えてくる元気な草は、牛や馬の大好物なんだね。

牛や馬が草を食べてのんびりと過ごす草原には、いろいろな草花や生き物が見られます。



牛とくらす生き物たち



牛は草花を食べてしまわないの？

牛や馬はグルメだ。やわらかくておいしい草は食べるけど、トゲや毒がある草は食べないんだ。たとえば、ツクシアザミ、クララ、オキナグサ、ゼンマイなどはきらいで、じょうずによけて食べるんだ。放牧している草原にさくきれいな草花は、牛や馬が食べ残したものが多くいんだよ。

オオルリシジミとクララ

クララという植物は、くらくらするくらい苦いので牛や馬は食べないよ。でも、このクララのことが大好きなこん虫がいるんだ。オオルリシジミというチョウの幼虫は、クララしか食べないんだ。だから、オオルリシジミが見られる場所も限られているよ。

フンを食べる虫がいるって本当!?

牛や馬の落し物を食べる生き物もいるよ。牛のフンを食べる虫、ふん虫だ。センチコガネ、オオセンチコガネなどで、種類によって好きなフンが決まっているんだ。

草原に行って見つけてみよう。見つけたものに○をつけよう。



ツクシアザミ



ゼンマイ



オオルリシジミとクララ



センチコガネ



阿蘇の草原を見て一句
草花やこん虫の写真をとってはろう。また、その草花やこん虫について左のマスに1文字ずつ入れて、俳句をよんでみよう。

(例)
ふるいけや
かわずとびこむ
みずのおと

ここに写真をはってね

か 草刈りと草の保存 ほん

秋になると、草原は緑から茶色に変わっていきます。農家のおじさんたちは、草原の草を刈り、刈った草を集めていました。刈った草は、ロールや草小積みにして保存されます。ロールは、近くで見るととても大きいのでびっくりします。

草刈りは大変な作業だね。作業中の人になっつもりで気持ちを書いてみよう。



草原に転がっている白いものは、草を包んで保存したものだったんだね。



でも、こんなにたくさんの草を刈ってもいいの？
きれいな花が、さかなくなるんじゃないかな。

● 干し草ロールと草小積み

干し草ロール

刈った草を機械で巻き、つつ状にしたもの。大きいものは400kgもあります。



草小積み

昔は、草を束にして積み上げて保存しました。てっぺんにススキの屋根をつけます。



秋の草刈りと夏の植物

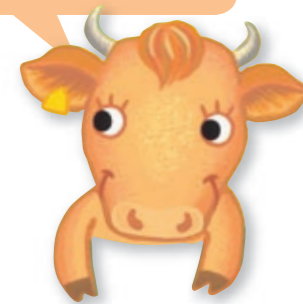
阿蘇の草原で一番元気な植物はススキだよ。草刈りをしないと、草原はススキだらけになってしまうんだ。でも、秋に草を刈ると、ススキがちょっと場所をゆずって、他の植物も毎年きれいな花をさかすことができるようになるよ。



夏の草原に花をさかせるユウスゲ



刈った草は、どんなことに使えるか考えてみよう



草刈りは、草原にいろいろな植物が育つことにも役だっているのね。

そうだね。ところで、刈った草はどうなるんだろう。たくさんの草は一体何に使われているのかな。

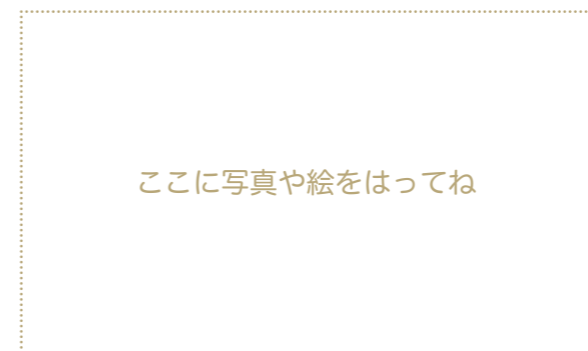


うちでは、おもに冬のあいだの牛のえさにしているけど、他にもいろいろなことに使っているよ。

けんたくんとしょうこさんは、まさかずくんの家に行って、草がどんなふうに使われているのか、見せてもらうことにしました。

ほ 干し草を探そう!

見つけたら絵をかこう。実物をはってもいいよ。



ここに写真や絵をはってね



干し草を調べよう!

色は

においは

かたさは

その他気づいた事

干し草がありそうな場所→草原、畑、牛小屋など

草の利用

まさかずくんの家では、牛小屋で牛を飼い、畑では野菜を育てています。野菜畑のすみには、草が積んでありました。



●たい肥

動物のフンに落ち葉などの植物を混ぜてくさらせて作った肥料をたい肥といいます。阿蘇では、干し草を牛のフンに混ぜてたい肥を作っています。これを使うと、おいしくて元気な野菜ができます。

おじいさんの話

干し草は、冬の間の牛のえさや肥料の材料になる。牛小屋に敷いた草や牛が食べ残した草が、牛のフンや尿と混ぜて肥料(たい肥)のもとができる。こうしてできた肥料は畑で野菜を作るのに使うんだ。とても健康でおいしい野菜ができる。昔は一家に一頭は牛や馬を飼っていたから、えさとなる草を必要としたんだ。最近では、トラクターや化学肥料が使われるようになって、牛や馬を飼う家が減ってきたので、草が使われなくなっているよ。



草原と人々の関わり

草原では、いろいろな作業が行われていることがわかりました。農家の人たちがくらしのために行っている作業が、植物の生長などを助け、草原を守っています。

●二次的自然

阿蘇の草原のように、人が利用することで維持される自然を二次的自然といいます。日本には、二次的自然が多く見られます。山林や田畑など、人の手が入ることによって豊かな自然環境が保たれているのです。



農家の人の作業は、草原にとってもいいことだったのね。



そうだね。阿蘇では、千年も前から人々が草原を使ってきたんだって。



千年も!?! 長い間、人々がかわってきたから、こんなにきれいな草原ができたんだね。



でも、おじいちゃんは昔はもっともっと草原が広がっていたって言っているよ。



世界中にじまんでできる阿蘇



阿蘇の草原が、人々が利用することでつくり、守られてきたことはわかったね。

阿蘇のすごさはそれだけではないよ。今では、年間1,900万人もの観光客が阿蘇に来て、草原の景色を楽しんでいる。それに、国立公園にもなっている。国立公園は、日本を代表する自然の景色であることを、国が認めた場所で、全国で28か所しかない。阿蘇の草原は、美しい景色とたくさんの生き物がくらす豊かさが評価されたんだ。

ほくたちパークレンジャーは、この国立公園を守るために働いているんだ。みんなの小学校で、草原について話をすることがあるかもしれないよ。



そんなにたくさんの方が来ているなんてびっくり。

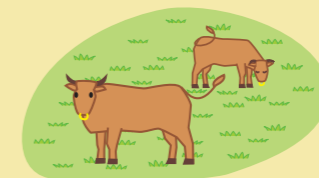


国立公園ってことは、日本の代表だよ。阿蘇はすごいんだなあ。じまんしたくなかったよ。

毎年、季節ごとに行われている大事な作業。これらの作業をしないと、草原はどうなってしまうかな? 今まで学習してきたことから考えてみよう。



野焼きをやめたら...



放牧をやめたら...



草刈りをやめたら...

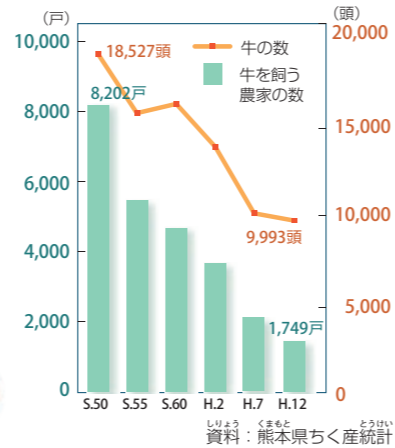
()をやめたら...「野焼き」「放牧」「草刈り」のどれかひとつを選んで書いてね。

げんしょう 減少する草原



草原に行って気になったことがあります。緑の草原の中に、時々茶色のままの草原があるのです。

●牛を飼う農家の数と牛の数

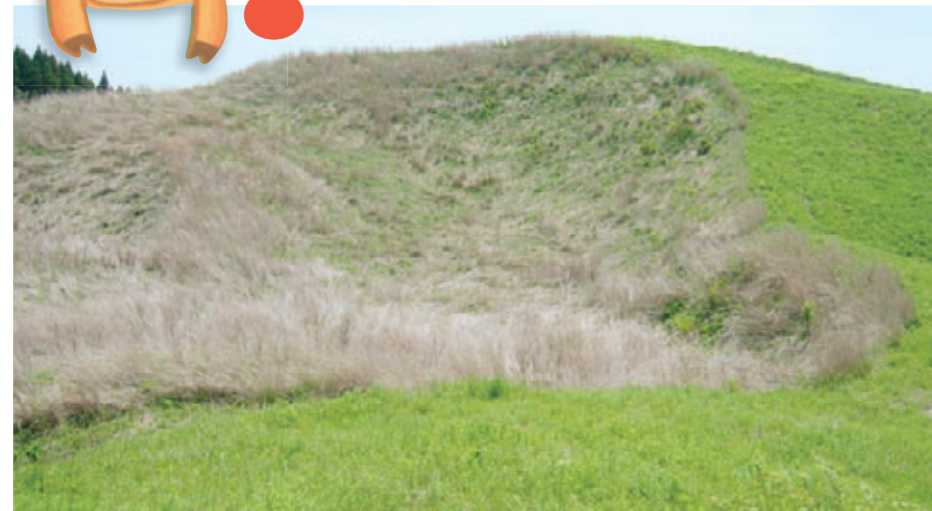


あそこだけ、茶色の草がのびているよ。まわりにくらべて、きちんと手入れされていない感じだね。

まさかずくんのおじいさんが、農業やちく産業で働く人が減っていると言っていたよね。

そういえば、おとうさんやおかあさんが子どものころには、家で牛を飼っていたって言ってたな。今でも、家には牛のえさを入れていたおけが残っているよ。

草原が荒れていることと、農家が減っていることは、関係があるのかしら。



農業を営む人や放牧される牛の数が減ると、草があまり使われなくなります。野焼きなどの作業を行う人手も足りなくなり、草原を管理できなくなっていくます。そして、管理されなくなった草原は、荒れてヤブになってしまいます。

✕モ

写真を見て感じたことを書いてみよう。

昔と比べて、必要とされる草の量が減っています。

昔は、どこの家の屋根も「カヤぶき屋根」といって、カヤ(スキヤオギ)が使われていました。そのため、草原に行って草を刈り、たくさんのカヤを手に入れていました。今では、かわらなどの工業製品による屋根がほとんどで、そのぶんだけ、草原の草が必要なくなったということです。



今ではめずらしくなくなったカヤぶき屋根の家

ほかにどんなところで草の利用が減ってきているかな？ 思いつくことを書いてみよう。



✕モ

思いつくことを書いてみよう。

草の利用が減り、管理が行き届かなくなって草原が減少すると、どんなことが起こるのでしょうか。みんなといっしょに考えてみましょう。

草原に住んでいる、鳥や動物たちが困るんじゃないかな？



ヒバリ

阿蘇でしか見られない植物が絶めつしてしまうかもしれないよ。



ツクシマツモト

✕モ

他に考えられることを書いてみよう。



ヤブが増えると、広い草原をじまんでできなくなっちゃうよ。



いろいろと困ったことが起こることがわかりましたね。では、これらの問題を解決するには、どうすればいいでしょう。

草原を守る



阿蘇の人々は、自分たちの暮らしの中で昔から草原とかわって来ました。

草原とともにある暮らしは、先祖から次の世代へと、長年にわたって受けつがれてきたものです。それは同時に、草原を守ることにつながっているのです。

ところが、今、草原を守ることが難しくなって、草原が減っています。阿蘇の人たちは、そんな草原について、どう考えているのでしょうか。



みんなは、草原にかかわっている人たちに話を聞いてみました。

牧場で働く鎌倉さん



阿蘇の草原を守るためには、ちく産業をさかんにしなければなりません。最近は、農家の後をつぐ人が減っています。若い人が働きたくなくなるような工夫をしていく必要があります。そして、牛の数を増やしていきたいです。



新しい工夫のひとつとして、菊池などから牛をあずかって放牧し、草原を利用しています。

野焼きボランティアの舩尾さん



草原を守るために、何かしたいと思い、野焼きのボランティア活動に参加しました。

草原を守っていく作業は、きつくて大変ですが、もっとたくさんの方が草原のことを知って、仲間に加わってくれればと思います。



ボランティアには、熊本市や福岡市など都市の人たちがたくさん参加しています。

牛を飼う井さん



私が草刈りをする草原では、春から秋までいろいろな草花がさき、いつも心をなごませてくれます。地元の子どもたちに、私たちの仕事の様子や、たくさん草花や動物が育つ草原を見てもらい、阿蘇の草原のすばらしさを知ってもらいたいですね。



阿蘇の草原には、なんと600種類もの植物が見られます。

農家の岩下さん



草原の草を肥料にした野菜を育て、草原再生シールをはって売っています。草を利用することが、草原を守ることにつながります。おいしい野菜ををたくさんの人に食べてもらいたいと思います。



草原再生シールをはると、草の肥料で育った野菜であることがひと目でわかります。



草原を守るためにできること。
みんなと
いっしょに
あなたも
考えてみよう。

考えられることを書いてみよう。

メモ



草原を守るために私たちにもなにか、できることはないかな。

まさかずくんのおじいちゃんにたのんで、草刈りの手伝いをさせてもらおうか。

それはいいね。よし、がんばるぞ。

草原イエローページ

●草原に関するホームページ

- 阿蘇草原再生キッズページ <http://www.aso-sougen.com/kids/index.html>
阿蘇くじゅう国立公園 http://www.sizenken.biodic.go.jp/park/cgi-bin/page_np.cgi?park=asokujuyu
阿蘇火山博物館 <http://www.asomuse.jp/>
阿蘇たにびと博物館 <http://www9.ocn.ne.jp/~tanibito/>
あか牛.TV <http://www.akaushi.tv/>
RKK 阿蘇ライブカメラ <http://www.rkk.co.jp/livecamera/index.html>
阿蘇インターネット放送局 <http://www.webtv-aso.net/>

●草原に関する本

- 原野の子ら 文：広鱒恵利子、発行：汐文社
千年の草原（マンガで見る環境白書シリーズ VII）発行：大蔵省印刷局
※ 問い合わせは、独立行政法人国立印刷局へ

●草原のことを学べるスポット

南阿蘇ビジターセンター、阿蘇野草園	たかもり おおあざたかもり 高森町大字高森	TEL 0967-62-2111
ASO 田園空間博物館	あそしぐらかわ 阿蘇市黒川	TEL 0967-35-5077
阿蘇火山博物館	あかみず くさせんり がはま 阿蘇市赤水（草千里ヶ浜）	TEL 0967-34-2111
なみの高原やすらぎ交流館	なみの 阿蘇市波野	TEL 0967-23-0555
国立阿蘇青少年交流の家	いちのみやまみやじ 阿蘇市一の宮町宮地	TEL 0967-22-0811
阿蘇たにびと博物館	みなみ あそむらおおあざなかまつ 南阿蘇村大字中松	TEL 0967-64-8200
阿蘇インフォメーションセンター	おざと 阿蘇市小里	TEL 0967-32-1960
阿蘇市一の宮町インフォメーションセンター	いちのみやまみやじ 阿蘇市一の宮町宮地	TEL 0967-22-8181
大観峰展望所（大観峰茶店）	やまだ 阿蘇市山田	TEL 0967-32-3856
城山展望所	いちのみやまさんの 阿蘇市一の宮町三野	
俵山展望所	かいたん 南阿蘇村河陰	
かぶと岩展望所	にしこそ 阿蘇市西小園	
草千里展望所	阿蘇市草千里ヶ浜	
すずらん公園	阿蘇市波野	

草原に関するご質問はこちらまで



〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川 1180
TEL:0967-34-0254
e-mail:NCO-ASO@env.go.jp
<http://kyushu.env.go.jp/>

写真協力：大滝典雄、鈴木隆、瀬井純雄、田上義明、寺崎昭典
編集協力：株式会社メッツ研究所
デザイン：株式会社アートポスト
イラスト：タコリトモコ
印刷：株式会社高陽堂印刷

学習を終えたら、表紙の雲
の中にワークブックのタイ
トルを考えて書いてみよう。

このワークブックは再生紙を使用しています。

